

2月定例月議会
議会報告会
(動画配信)

教育民生常任委員会

予算常任委員会教育民生分科会

事前質問資料

四日市市議会

資 料 一 覧

○令和3年度 当初予算議案

- ・老人福祉センター事業費・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- ・生活習慣病予防事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- ・児童虐待防止対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- ・不妊治療医療費助成事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- ・魅力ある奨学金制度の創設事業・・・・・・・・・・・・ P 5
- ・（仮称）四日市市学校給食センター整備運営事業・・・・・・・・ P 6～7

老人福祉センター事業費

1. 目的

高齢者に関する各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的とした老人福祉センター事業を実施する。

また、令和3年度においては、第8次介護保険事業計画・第9次高齢者福祉計画および介護予防拠点施設基本構想に基づき、介護予防拠点施設の整備を進める。

2. 内容

(1) 老人福祉センターの運営 62,209千円

中央老人福祉センターおよび西老人福祉センターの管理運営業務を社会福祉法人に委託し、老人福祉センター事業を実施する。

(2) 施設改修に向けた実施設計 8,500千円

老人福祉センターについては、今後、より必要性が高くなる介護予防や介護人材の育成などの活動拠点として、介護予防についての研修環境の整備や交流スペースの設置、浴室の廃止等の機能や役割の見直し、また施設の統合整備を図る。

令和3年度は、介護予防拠点施設として中央老人福祉センターへの集約化の整備をするため、必要な改修工事について実施設計を行う。

3. 予算額 70,709千円 (財源内訳) その他特財(私用電気使用料)
(前年度 66,355千円) 42千円
一般財源 70,667千円

担当 健康福祉部 高齢福祉課

一般会計、国民健康保険特別会計

生活習慣病予防事業

[検診事業費・ヘルスアップ事業費]

1. 目的

がんや糖尿病などの生活習慣病の発症予防、重症化予防を図るとともに、検診を受診しやすい体制整備に取り組む。

2. 内容

(1) 検診の充実 7,803千円

がん検診受診向上に向け、個別勧奨通知をわかりやすくするため、デザインを工夫するとともに、文字を大きくした案内物を送付する。さらに、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の拡大により、見合わせとなったがん検診受診希望者がより早期に受診できるよう、令和3年度は開始時期を例年より早めるとともに、期間を延長し受診しやすい体制を整える。

令和3年度がん検診実施期間

集団がん検診 令和3年6月～令和4年1月（例年 6月～1月）

個別がん検診 令和3年5月～令和4年2月（例年 7月～1月）

(2) 糖尿病性腎症重症化予防の取り組み 2,908千円

糖尿病の重症化予防が必要な国民健康保険の被保険者に対し、健康寿命の延伸、医療費の適正化を図るため、受診勧奨や保健指導を実施する。

3. 予算額 10,711千円 (財源内訳) 県支出金 1,918千円
(前年度 8,807千円) その他特財 990千円
(糖尿病対策事業負担金(三重郡三町))
一般財源 7,803千円

担当 健康福祉部健康づくり課

健康福祉部保険年金課

児童虐待防止対策事業

1. 目的

子どもの権利が守られるよう、関係機関・関係団体・地域と連携しながら事業を実施し、児童虐待の早期発見・早期対応・未然防止を図る。

2. 内容

(1) 市民啓発や見守りの実施 1,401千円

郵便局との包括連携に関する協定を利用し、郵便配達時における児童の見守りを依頼しているなか、さらに11月の児童虐待防止推進月間を中心に郵便車両への啓発用マグネットの貼付を依頼する。また、公用車等に啓発用マグネットを貼付するほか、市内を通行するバスに啓発用バスマスクの取り付けを依頼する。

(2) 育児フォローアップ事業の実施 1,896千円

育児に関する不安や悩みの傾聴及び助言、育児手技の伝達等を行い、保護者の負担や不安を軽減し、虐待の未然防止を図る。この事業は、家庭訪問に抵抗がある家庭もいることから、児童養護施設への通所による支援も可能とし、家庭訪問を原則とする養育支援訪問事業と併せて、きめ細やかな支援を実施する。

(3) 関係機関への研修会を開催 412千円

民生委員・児童委員及び保育士が、児童虐待を正しく理解し、適切な連携や対応が取れるよう、研修会を実施する。

(4) その他 1,787千円

職員の研修、出張旅費、関係者との会議費、その他消耗品等

3. 予算額	5,496千円	(財源内訳)	国庫支出金(1/2・1/3)	502千円
(前年度)	5,496千円)		県支出金(1/3)	486千円
			一般財源	4,508千円

担当 こども未来部 こども家庭課

魅力ある奨学金制度の創設事業

1. 目的

子育て家庭の経済的負担を軽減するため、経済的理由から修学が困難な高校生、大学生等を対象とした魅力ある奨学金制度を創設し、意欲ある学生が希望する進学先に進めるようにする。また、返還免除型を併用することで、卒業後の定住促進にもつなげていく。

新制度のイメージ（令和4年度の新奨学生）

奨学金の構成	入学支度金		高校生 40,000円	大学生 50,000円	令和3年度に給付
	月額奨学金	(1/2 給付)	高校生 月額12,000円	大学生 月額24,000円	令和4年度から開始
		(1/2 貸与) ※返済時に市内在住なら返還免除			

2. 内容

新しい奨学金制度の周知と令和4年度奨学生の募集を行う。家庭状況等に基づき所得が低い家庭から採用し、入学支度金の給付を行う。

- ・ 入学支度金 2, 250 千円
- ・ 制度の周知費用
(チラシの印刷、郵送料等) 150 千円

3. 予算額 2, 400 千円 (財源内訳) 一般財源 2, 400 千円
(前年度 1, 796 千円)

○事業スケジュール

令和2年度	令和3年度	令和4年度
新制度創設にかかる 調査・制度設計	準備・周知期間 募集・選考	新制度開始

担当 教育委員会 教育総務課

(仮称) 四日市市学校給食センター整備運営事業

1. 目的

成長期にある中学生によりふさわしい給食を提供するとともに、給食を通じて食育や地産地消を推進するため、全員喫食を前提とした食缶方式による中学校給食の導入を目指す。

2. 内容

四日市市中学校給食基本構想・基本計画に基づき、給食センターの整備、運営をPFI事業により行う。令和5年4月の供用開始に向けて整備し、整備完了後、令和19年度までの15年間の運営業務を行う。令和3年度は、PFI事業者が給食センターの設計、整備を行うため、市はその業務が適切かつ確実に進められているかモニタリングを行う。また、受入校の配膳室等の設計、整備を行う。

- | | |
|---|----------|
| (1) 給食センター整備 | 4, 327千円 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング支援等業務委託（令和2～4年度） 市のモニタリングにおける専門的視点からの技術的支援業務 | |
| (2) 受入校整備 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・配膳室およびエレベーターの設計業務等委託 31, 000千円 （三重平中、港中、富洲原中、保々中、西笹川中、西陵中、橋北中、塩浜中） ・配膳室整備工事 57, 000千円 （笹川中、富田中） | |

- 3. 予算額** 92, 327千円 (財源内訳) 一般財源 92, 327千円
 (前年度 65, 684千円)

○事業スケジュール

	R2			R3			R4			R5
給食センター整備	事業者の選定									令和5年4月 供用開始
				設計・建設						
									開業準備	
受入校整備	工事 (6校)									
	設計 (7校)			工事 (7校)						
				設計 (8校)			工事 (9校)			

※令和3年度当初予算への計上を予定していた7校のうち桜中学校、三滝中学校、中部中学校、楠中学校、西朝明中学校の配膳室等整備工事については、国の補助金の交付決定があったため、令和2年度2月補正予算に計上し、令和3年度に繰り越して実施する予定である。

○給食センター施設イメージ



担当 教育委員会 学校教育課